

事業報告

事業名	令和3年度第9回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和4年2月15日（火）20：00～21：30		
場 所	オンライン（ZOOM利用）		
対象者	すべて	参加者数	277名 （内受講証明書発行17名）
<p>（概 要）</p> <p>1 講師 田中俊徳 九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 准教授</p> <p>2 演題 「屋久島から考える世界遺産のジレンマ」</p> <p>3 講演要旨</p> <p style="padding-left: 2em;">世界遺産条約とは？ その目的は？</p> <p style="padding-left: 2em;">世界遺産の8割が文化遺産、2割が自然遺産</p> <p style="padding-left: 2em;">世界遺産がユネスコで最も成功した条約と言われている</p> <p style="padding-left: 2em;">世界遺産条約ができたのはなぜ？</p> <p style="padding-left: 2em;">国の枠組みを超えた保護</p> <p style="padding-left: 2em;">誰がどのように保護管理を担うのか</p> <p style="padding-left: 2em;">保護担保措置とは</p> <p style="padding-left: 2em;">国立公園の重要性</p> <p>4 受講者アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産は、それほど万能でなく、それを契機した物事の深め方が大事だと。 ・ユネスコの取組について、詳しくご説明いただき、大変わかりやすかったです。 ・日本の国立公園法および関係法の下での自然保護活動の困難さがよく分かりました。 ・世界遺産条約、国立公園法、森林生態系保護地域など改めて整理ができた。 ・世界遺産に関する多方面からの見方を知ることができて、興味深かったです。 ・改めて、世界遺産の登録はゴールではなく、スタートであるということ。 ・屋久島や日本の世界遺産は管轄の問題など色々な問題を抱えている事 <p>※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p> <p>※アーカイブをご覧になれます。 オンラインアカデミー屋久島大学HP https://yakudai.jp/</p>			
資料等	なし		